

Service News [サービス・ニュース]

拡大読書器、大活字本のご案内

「拡大読書器とは」

画面上に、本などの文字を好みの大きさに拡大して映し出すことができます。通常の大きさの文字を読み取ることが難しい方のために、読書をサポートする機器です。3階ブルーゾーン奥の机の上に設置してあります。利用方法については、スタッフへお尋ねください。



「大活字本とは」

原文のままで、文字サイズを通常の3ミリ程度から5ミリ~1センチの大きさに拡大した書籍です。3階ブルーゾーン奥に大活字本専用のコーナーが設置されていますので、お気軽にご利用ください。



▲大活字本コーナー【3階ブルーゾーン奥】 ▲大活字本(左側)

日比谷データベース講座のご案内

12/7 (水) VOL.17 「毎日新聞社データベース「毎索」で読む近現代史」
 ■時間: 12:15~13:15 / 18:30~19:30 ※講座内容は各回とも同じです。
 ■場所: 2階 図書フロアカウンター前 ■参加費: 無料

専門図書館への入口講座のご案内

12/14 (水) 第7回「公益財団法人 日本交通公社 旅の図書館」
 ■時間: 18:30~19:30
 ■場所: 3階 ライブラリープラス ■参加費: 無料
 ※ともに、事前申し込みは不要、当日は直接会場へお越しください。

12月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「お江戸ネットワーク」(~2017/1/13)
 自動車やインターネットの無かった江戸時代、人々は街道や橋、水路などの交通網を整備することによって、物流や情報網を発達させてきました。現代へとつながる江戸のネットワークについて展示します。

2F ホール 「障害者週間 関連展示」(~12/18) **NEW!**
 毎年12月3日から9日までの一週間は、内閣府の定める障害者週間です。当館で行っている障害者サービスについて掲示し、あわせて12月3日に開催される「バリアフリー映画会」の詳細をお知らせします。

3F ブルーゾーン 「家族ってなに？」(~12/16)
 辞書に記載されている「家族」の定義を踏まえたうえで、多様化し、一括りには出来なくなっている現代の家族についてご紹介します。多方面から「家族とは何か？」を考える展示です。

開館5周年記念 オリジナル クロスワードパズル こたえ

まなぶたのしさを学ぶ楽しさ

ANSWER

3F グリーンゾーン

【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

つながる世界 — 現代のネットワーク — ~2017年2月17日(金)



現代において急速に発展したインターネットは、私たちの生活に欠かせないものとなりました。インターネットによって人と人、人とモノとの距離は縮まり、さらにはモノとモノとのネットワークも構築されつつあります。ネットワークのさらなる発展により、あらゆるものがつながる世界とはどのようなのでしょうか? リスクや問題点も含め、一緒に考えてみませんか。



★ぜひ、2階パープルゾーンの展示「お江戸ネットワーク」とあわせてご覧ください!

日比谷カレッジ報告

市民参加の時代のアート — 鑑賞する芸術から経験する芸術へ —

講師: 毛利 嘉孝 (東京藝術大学大学院教授 社会学)

彫刻や絵画など、物質として鑑賞される芸術とは異なり、体験が中心の新しい芸術について、理論と実例の両面から解説していただきました。また、そのような参加型アートを多く展示する各地の地域プロジェクトについて、その魅力だけでなく問題点や今後の方向性について、社会的な視点と共にも説明されました。参加者からは「芸術のこれからの役割を考えることができた」といった感想が寄せられました。

10/3 (月)

わたしの一冊 『とうがらしマニアックス』

とうがらしマニアックス編集部 著

辛い香辛料の代名詞と言えはそう、唐辛子です。辛くて美味しい料理のレシピ、世界の様々な唐辛子の紹介(ピーマンも唐辛子の仲間です!)、その辛さにやられた時の対処法など、余すところなく唐辛子の様々な魅力を含めた唐辛子マニア達による唐辛子のみで作られた1冊です。見ているだけで体が熱くなってくる寒い冬におすすめです。

山と溪谷社 / 2009年

美しいビジュアルでお届けする、唐辛子好きによる、唐辛子好きのための唐辛子を味わい尽くせる1冊。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

日比谷図書文化館 開館5周年記念 平成28年度文化財特別展

2016 12/5 (月) 2017 2/5 (日) 入場無料

発掘された大名屋敷

江戸は、慶長8年(1603)の開府以来、天下の府として全国の大名屋敷が置かれ、参勤交代によって多くの人々が江戸に居住することとなりました。その後、江戸の経済は全国の大名によって支えられ、百万都市へと発展していきます。江戸城郭内であった千代田区には、御三家や幕政を担った譜代大名、外様大名の屋敷がありました。

本展では出土遺物の中から金箔を施した瓦や色彩豊かな中国陶磁など、江戸城下の中心であった千代田区を示す考古資料を多数展示します。また、大名行列の復元図や江戸の風景を復元したパノラマ画像によって大名屋敷に住んだ人々の生活や街並みを伝え、その暮らしを詳しく紹介します。

◆ 会期: 平成28年12月5日(月)~平成29年2月5日(日)
 ◆ 平日: 午前10時~午後8時 土曜: 午前10時~午後7時
 日祝: 午前10時~午後5時 ◆ 会場: 1階特別展示室
 ◆ 休館日: 12月19日(月)、年末年始(12月29日(木)~1月3日(火))、1月16日(月)

◆ 12月16日(金)、1月11日(水)、1月18日(水)
 ◆ 時間: 午後6時~(約30分)
 ◆ 場所: 1階特別展示室 ※申込不要

【関連講座】

発掘された大名屋敷

遺跡発掘調査の成果をひもときながら、屋敷に住んだ殿様や勤番武士の暮らしを解き明かします。

講師: 後藤 宏樹 (日比谷図書文化館文化財事務室 学芸員)

◆ 日時: 12月16日(金) 午後7時~午後8時30分
 ◆ 場所: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ◆ 定員: 60名 ◆ 資料代: 500円
 ◆ 応募締切: 12月7日(水) (消印有効)

有楽町一丁目遺跡発掘部材から見る江戸初期・大名屋敷の華やかさ

大名小路にあった松平藤井家の屋敷から発見された金箔の部材から、屋敷の華やかさを解き明かします。

講師: 波多野 純 (日本工業大学教授)

◆ 日時: 1月11日(水) 午後7時~午後8時30分
 ◆ 場所: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ◆ 定員: 180名 ◆ 資料代: 500円
 ◆ 応募締切: 12月26日(月) (消印有効)

江戸勤番武士の生活と実態

庄内藩酒井家上屋敷の歴史資料から解明された、勤番武士の暮らしを紹介します。

講師: 岩淵 令治 (学習院女子大学教授)

◆ 日時: 1月18日(水) 午後7時~午後8時30分
 ◆ 場所: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ◆ 定員: 60名 ◆ 資料代: 500円
 ◆ 応募締切: 1月6日(金) (消印有効)

特別展開連事業 「発掘された大名屋敷を歩く」

江戸時代の大名屋敷跡を訪ね、大名研究を行っている区内の博物館を見学します。

予定経路 ▶ 千秋文庫~北の丸公園~一ツ橋~昼食~明治大学博物館 ※約4キロを歩きます。小雨決行

◆ 日時: 12月10日(土) 午前10時30分~午後3時
 ◆ 講師: 日比谷図書文化館文化財事務室 学芸員
 ◆ 定員: 20名 ◆ 参加費: 2,000円(資料・保険・昼食代を含む) ◆ 応募締切: 12月1日(木) 消印有効

上記いずれも ◆申し込み方法▶ 往復はぎに、①講座名、②氏名、③郵便番号・住所、④電話番号、⑤年齢を記入の上、〒100-0012千代田区日比谷公園1-4日比谷図書文化館 文化財事務室へ郵送してください。※応募者多数の場合は抽選。千代田区民優先。◆お問い合わせ▶ 千代田区立日比谷図書文化館 文化財事務室 電話: 03-3502-3348 FAX: 03-3502-3361

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2016年 12月							2017年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

※12月29日(木)~1月3日(火)~年末年始休館
 ※1月14日(土)、1月15日(日)→図書特別整理による部分(図書フロア)休館

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区立日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access

都営地下鉄
 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分

東京メトロ
 ●丸の内線「日比谷駅」B2出口 徒歩3分
 ●丸の内線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 ●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/1 (木) 近代日本「ものづくり」夜学会 日比谷カレッジ版 第2回 生糸が支えた明治の近代化 一富岡製糸場をめぐる人々を中心に

講師：佐滝 剛弘 (高崎経済大学特命教授)

世界遺産に精通し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」についての著書執筆や講演も多数行ってきた講師が、富岡製糸場に代表される明治期の絹産業による近代化について、地理的、経済的な視点を交え、人物にスポットを当ててお話しします。



創立当時の富岡製糸場 (柴田常恵著『群馬の史跡名勝』/三明社/1928年)

- 日時：12月1日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

12/3 (土) バリアフリー映画会『武士の家計簿』

通常の映画と異なり、音声ガイドと日本語字幕によって、視覚や聴覚に障害のある方もみんなと一緒に楽しめるバリアフリー映画を上映します。上映作品は磯田道史原作、森田芳光監督の『武士の家計簿』(2010年)。※どなたでもご参加頂けます。



- 日時：12月3日(土) 14:00～16:15 (13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：50名 ■ 参加費：無料 ※手話通訳、また車椅子スペースをご希望の方は、申込時にお申し出ください。

12/8 (木) 古書で細解く近現代史セミナー 第23回 今も世界に輝く高峰譲吉さんの業績

講師：石田 三雄 (NPO法人高峰譲吉博士研究会理事長)

タカジアスターゼ、アドレナリンの発見などで知られる高峰譲吉は、日米親善・民間外交にも多大な貢献をしました。本講座では、高峰譲吉の人生を通して、現代人が学ぶべき彼の「国際人」としてのあり方を語っていただきます。



高峰 譲吉 (K.Kawakami 著『Jokichi Takamine』/William Edwin Rudge /1928年)

- 日時：12月8日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

12/11 (日) ピースビレッジ 第48回 自然は完全 "Nature is Perfect" という原則のもとに集まろう!

講師：新井 真理子 (キネクラブジャンパニ主宰)

健康とは、身体(自然)と意識の躍動的な「調和」です。病気が痛みを身体(自然)からの大きな愛と捉え、肉体をエネルギーとしての存在として捉え、高性能な生き方に再プログラミングするべく、講師が20年をかけて理論だけでなく、自分の体で実験してきた究極の「未来型ナチュラルライフ」についてお話しします。



- 日時：12月11日(日) 14:00～16:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：3000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/13 (火) 吉祥模様 幸せを願い、慶ぶ模様

講師：長崎 巖 (共立女子大学博物館長)

幸福への祈りの表現や、幸福であることを慶ぶ行為は様々ですが、中でも、意匠でこれを行う吉祥模様は、人の日々の生活を支える様々な工芸品に広く見られます。この講座では、染織品を中心とする日本の工芸品に見られる吉祥模様を通史的に捉えながら、日本人の文化的特質について考えてみたいと思います。



松竹梅鶴亀模様 打掛江戸時代後期・19世紀前半 町人女性の婚礼用の打掛

- 日時：12月13日(火) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

12/14 (水) 世界の音楽 第8回 二胡の響き

講師：劉 継紅 (東京音楽大学大学院音楽研究科客員教授)

中国を代表する民族楽器、二胡。人間の声にも似ていると言われる哀愁を帯びた音色は日本人の心をとらえ、今では、中国曲にとどまらず、ポップスやジャズなど、さまざまなジャンルで使われるようになっています。二胡の仲間である高胡、中胡とともに、2本の弦から紡ぎ出される無限の世界を楽しみます。



- 日時：12月14日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

12/14 (水) 世界を変えた技術標準

講師：橋本 毅彦 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

USBの形状、キーボードの配列など、高度な技術による工業製品やその部品が世界中を広く流通することで成り立っている現代社会。そのような産業社会においては、「標準」が大きな役割を演じています。技術標準の驚くべき歴史を振り返り、また現代社会を支える基盤的技術に含まれる基準の仕組みと歴史的背景について解説します。



フォード社のハイランドパーク工場で大衆生産されたT型車の車台(1913年) From the Collections of The Henry Ford.

- 日時：12月14日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

12/15 (木) 古書で細解く近現代史セミナー 第24回 青山士 パナマ運河と荒川放水路建設に生き様を刻んだ伝説的土木技師

講師：清水 弘幸 (土木学会正会員・青山士とパナマ運河)研究家)

1904年から始まったアメリカのパナマ運河開削に日本人で唯一人参加し、帰国後、内務省所属の技師として荒川放水路・旧岩淵水門建設に携わった明治の土木技術者、青山士(あおやま・あきら)の生涯、特に、現代に伝えるべき彼の土木事業に対する理念についてお話しさせていただきます。



青山士(荒川知水資料館蔵)

- 日時：12月15日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民・学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

12/17 (土) 演劇への入口講座 第8回 河竹黙阿弥生誕200年記念 明治の黙阿弥と散切物の風俗

講師：神山 彰 (明治大学教授)

河竹黙阿弥は、江戸と明治を約半分ずつ生きた歌舞伎の作者です。従来の風俗や価値観が一変していく時代の転換期にあって、歌舞伎がどのように明治という時代を描き、共感を与えようとしたのか。散切物という新ジャンルを通して、明治の東京の歌舞伎と風俗を考えます。



- 日時：12月17日(土) 14:00～16:00(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

12/20 (火) 柳宗悦の民藝とその現代的な展開

講師：松井 健 (東京大学名誉教授)

思想家・宗教哲学者である柳宗悦の審美眼によって初めて美しさを見出された「民藝」。スローライフなど暮らしを見直す今日的状況のなかで、民芸も再び着目されるようになり、民芸をどのように活性化させるか議論が行なわれています。本来の民藝が「どのようなものであったか」を柳宗悦らの著作や活動から内実を解き明かし、現代における民藝の意味についてお話しします。



柳宗悦(所蔵：日本民藝館)

- 日時：12月20日(火) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円

1/6 (金) 千代田区民講座 映像で語る 日本劇映画100年

講師：林 勝彦 (元NHKプロデューサー、記録映画「いのち」監督)

NHKプロデューサー時代に制作した特集番組「日本劇映画百年 名シーンでつづる一世紀の歩み」をもとに、昔懐かしい日本劇映画の魅力を語ります。



- 日時：1月6日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員：60名 ■ 参加費：無料
- 千代田区民11月20日(日)～受付開始、区民以外11月27日(日)～受付開始

1/19 (木) リーダーに学ぶ リーダーはどうあるべきか

講師：佐々木 常夫 (元東レ研究所所長)

年度の変わり目は人生にとって大きな節目を迎える時期。働き方が多様化する現代、社会人として働くすべての人に必要なリーダーの心得とは何か。仕事のリーダーに限らず、これから社会へ出る学生、学校や地域活動でより良きリーダーを目指し、自分を一段高めたいと感じているすべての人を対象に、一流のリーダーの生の声から学ぶ機会を提供します。(主催：公益財団法人 上廣倫理財団)



- 日時：1月19日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民・学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

1/19 (木) 江戸歴史講座 第43回 大江戸富くじ物語 一江戸の一攫千金ビジネス

講師：滝口 正哉 (成城大学非常勤講師)

落語などでおなじみの富くじは「富突」「富」と呼ばれ、幕府の認可を得た寺社のみが興行でき、すべて寺社の境内で行われるのが建前でしたが、実際には専門に請け負う町人が重要な役割を果たしていました。そんな富くじ利権をめぐる複雑な構造をわかりやすく紐解きます。



「江戸名所 湯しま天神社」(国立国会図書館蔵)

- 日時：1月19日(木) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

古文書塾でらこや体験講座

「古文書塾でらこや1月期 特別講座開講」 「古文書塾でらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。2017年1月の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。体験講座の実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試ください。



- 日時：12月17日(土)～ 順次開催
- 会場：4階セミナールーム(会議室)
- 定員：各23名(事前申込順) ■ 参加費：各回1,000円
- 資料・体験講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340)古文書塾でらこや担当

江戸時代の多種多様な資・史料を用いて 歴史の具体像・躍動を楽しみます。

	講座名	曜日・時間	初回目
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	12/20
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	12/20
	江戸の町政と社会一町奉行所の史料を題材に	(水) 19:00～	12/21
	豪商三井の最高意思決定一「大元方」の史料を読む	(水) 19:00～	12/21
	江戸を楽しむ一統・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	12/22
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	12/17

特別研究室 企画展示

「国際人」としての生き方 ～大航海時代から昭和戦前まで～

▶12月28日(水)まで開催中

ことし日本を訪れた外国人観光客が10月に2000万人を超えました。(国土交通省発表) 国際交流がますます盛んな時代となり、特別研究室では、内田嘉吉文庫の蔵書に登場するさまざまな時代の「国際人」を紹介し、「国際人」の生き方や定義について考える展示を開催しています。



後藤新平とピアード博士

● 図書特別整理による部分(図書フロア) 休館のお知らせ

臨時休館 2017年1月14日(土)、15日(日)

図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスの返却ボックスおよび国会通り側ブックポストをご利用下さい(一部資料を除く)。図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。

※1月16日(月)は全館、休館日です。(文化財事務室は除く)

ポモータ広報室より 12月が近づいてくると、街のあちらこちらがクリスマスイルミネーションで彩られます。日比谷界限でも、帝国ホテルやペニンシュラホテルのクリスマスツリー、丸の内仲通りのイルミネーションなど見どころ満載です。詳しい情報は、館内1階の受付・コンシェルジュでもご案内しておりますのでお尋ね下さい。日比谷図書文化館でも入口にクリスマスツリーを飾り、皆さまをお迎えます。